

2022年11月25日

各 位

会 社 名 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 時田 隆仁
(コード番号 6702 東証プライム市場)
問合せ先 広報 IR 室長 野本 邦彦
(TEL. 03-6252-2175)

(訂正)「連結子会社(株式会社滋賀富士通ソフトウェア)との吸収合併(簡易吸収合併)契約締結のお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

2022年11月24日に公表いたしました「連結子会社(株式会社滋賀富士通ソフトウェア)との吸収合併(簡易吸収合併)契約締結のお知らせ」について、本件合併の目的を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

【訂正前】

1. 本件合併の目的

SFLは、特定金融機関の勘定系システムをサポートすることを目的とし、金融機関との合弁会社として設立いたしました。近年においては特定金融機関に限らず、金融分野全般に向けたソリューションサービスを展開する事業環境に至ったことから、当初の設立目的を果たしたと判断し、2022年6月に合併を解消しました。

現在、当社は、2022年4月28日に公表した経営方針進捗レビューにおいて、パーパスの実現に向けて取り組む課題の1つに挙げた「お客様事業の一層の安定化に貢献」の実現に向け、デリバリー機能(ソリューションサービスの設計、開発、導入、運用、保守を行う機能を指す。以下同じ)の変革に取り組んでいます。

今般、この取り組みをさらに加速させるため、SFLを2023年4月1日に当社へ吸収合併いたします。

この吸収合併により、当社のデリバリー機能とSFLの持つ金融機関向けソリューションサービスノウハウを集約することで、更なる生産性向上を図るとともに商品力を強化し、お客様への提供価値向上へと繋げてまいります。

【訂正後】

1. 本件合併の目的

SFLは、特定金融機関の勘定系システムをサポートすることを目的とし、金融機関との合弁会社として設立いたしました。近年においては特定金融機関に限らず、金融分野全般に向けたソリューションサービスを展開する事業環境に至ったことから、当初の設立目的を果たしたと判断し、2022年6月に合弁を解消しました。

現在、当社は、2022年4月28日に公表した経営方針進捗レビューにおいて、パーパスの実現に向けて取り組む課題の1つに挙げた「お客様事業の一層の安定化に貢献」の実現に向け、デリバリー機能(ソリューションサービスの設計、開発、導入、運用、保守を行う機能を指す。以下同じ)の変革に取り組んでいます。

今般、この取り組みをさらに加速させるため、SFLを2023年4月1日に当社へ吸収合併いたします。

この吸収合併により、当社のデリバリー機能とSFLの持つ金融機関向けソリューションサービスノウハウを集約することで、更なる生産性向上を図るとともに商品力を強化し、お客様への提供価値向上へと繋げてまいります。

以 上